

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822** ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786 - 5122	●北陸支店	TEL (076) 263 - 4311
●東北支店	TEL (022) 288 - 8676	●関西支店	TEL (06) 7167 - 3644
●東京支店	TEL (03) 5753 - 7703	●中国支店	TEL (082) 504 - 8282
●関東支店	TEL (03) 6374 - 5687	●四国支店	TEL (087) 863 - 6761
●中部支店	TEL (052) 533 - 0231	●九州支店	TEL (092) 621 - 5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99073603 308 F

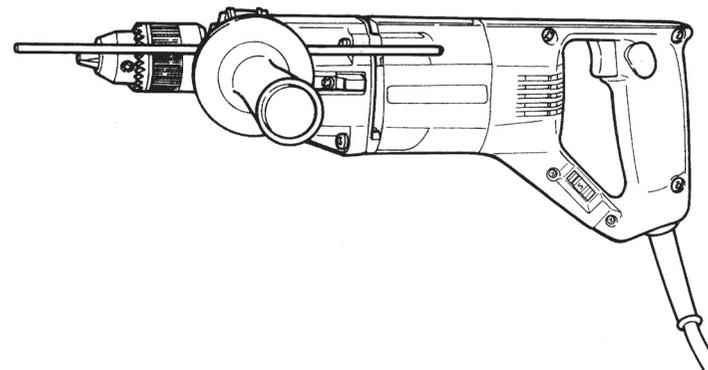
HIKOKI

電子ドリル

13 mm D 13VC

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
電子ドリルの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕様	7
標準付属品	7
用途	8
作業前の準備	8
ご使用前に	9
錐の取付け・取りはずし	11
使い方	11
保守・点検	13
ご修理のときは	裏表紙

警告、注意、注の意味について

警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⚠警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調整キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調整に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。**
屋外で継ぎ(延長)コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⚠警告

- ⑲ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
 - 電動工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ㉑ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。**
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発生させる物質です。
- ㉒ **損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉓ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉔ **電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受けできません。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に **回** マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違えて組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

電子ドリルの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子ドリルについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

- ① 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後の先端工具や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑤ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

各部の名称

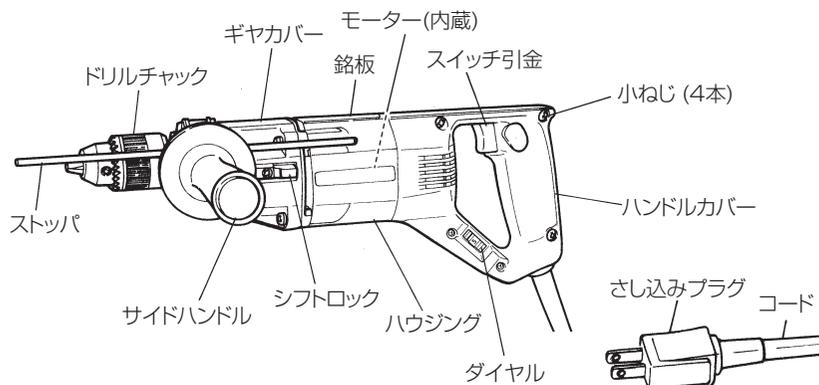


図 1

仕 様

		高 速	低 速
使 用 電 源		単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
最大穴あけ能力	鉄工	8 mm	13 mm
	木工	18 mm	30 mm
モ ー タ ー		単相直巻整流子モーター	
全 負 荷 電 流		6.3 A	
消 費 電 力		600 W	
無 負 荷 回 転 数		500~2,000 min ⁻¹ {回/分}	300~1,250 min ⁻¹ {回/分}
質 量		2.3 kg (コードを除く)	
コ ー ド		2 心キャブタイヤケーブル 2.5 m	

標準付属品

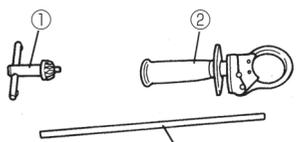


図 2

- ① チャックハンドル …………… 1 個
- ② サイドハンドル …………… 1 個
- ③ ストップ …………… 1 個

用 途

用 途	使用する部品
各種金属、樹脂材などの穴あけ	鉄工錐
木材などの穴あけ	木工錐

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この製品は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

2. 継ぎ(延長)コード……………



警告

• 継ぎ(延長)コードは、損傷のない物を使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さの物をできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大の長さ
1.25 mm ²	15 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

左の表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が故障する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故の原因になります。スイッチはスイッチ引金(図1参照)を引くと入り、はなすと切れます。

スイッチの引金を引き、はなしたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. サイドハンドルを取付ける……………

警告

- サイドハンドル保持部内径の突起とギヤカバー先端の凹部溝とのはめ合いはモーターがロック(拘束)されたときの反力によるサイドハンドル保持部の空転を防止し、またサイドハンドルに加えた推力による抜けを防止する物ですが、サイドハンドルグリップの締付けが十分でないと効果は半減しますので十分に締付けてください。

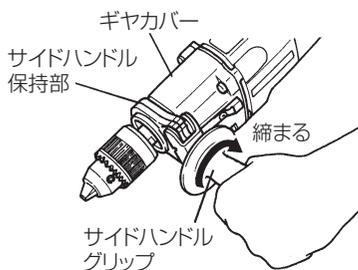


図 3

- (1) サイドハンドル保持部をギヤカバー先端部にはめ込みます。
- (2) サイドハンドル保持部の内径に設けられた突起が、ギヤカバー先端の凹部溝に確実にはまるように位置決めします。
- (3) サイドハンドルグリップをゆるめた状態では、サイドハンドル保持部は回転可能です。作業に合った位置にセットし、サイドハンドルグリップを十分に締付けます。

4. 錐の選び方……………

(1) 金属やプラスチックなどに穴をあけるとき

普通の鉄工錐を使用する場合は最小 1.2 mm、最大 13 mm です。

(2) 木材に穴をあけるとき

高速の場合は 18 mm 以下、低速の場合は 30 mm 以下の木工錐をご使用ください。

ただし、6.5 mm 以下の細い穴の場合は鉄工錐をご使用ください。

5. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

錐の取付け・取りはずし

警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

注意

- 取付けや取りはずしの際、錐で手を傷付けないよう十分注意してください。

1. 取付け方……………

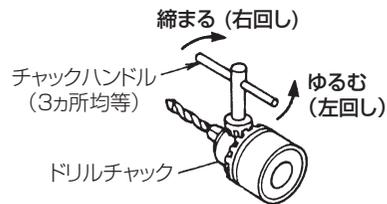


図 4

錐をドリルチャックに取付けるときは必ずチャックハンドルを用いて確実に締付けてください。

チャックハンドルを入れる穴は3カ所あります。1カ所だけできつく締めず、3カ所で順次均等に締めてください。

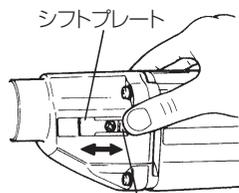
2. 取りはずし方……………

錐の取りはずしは、上記と逆に行ってください。

使い方

1. “高速” 2と“低速” 1の切り替え……………

切り替えは、必ずスイッチを切り、回転が停止してから行ってください。



シフトロック (押して動かす)

図 5

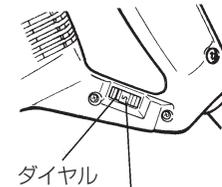
切り替えがうまくいかない場合には

切り替えがうまくいかない場合には、ドリルチャックを少し回すとスムーズに行うことができます。

2. スイッチの操作……………

スイッチはスイッチ引金(図1参照)を引くと電源が入ります。切るときは引金を戻してください。

3. 回転数の調整……………



目盛り
図 6

(1) 本機は錐の回転数を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。ダイヤルの調整により、穴あけ材料、作業条件に合った回転数でご使用ください。

ダイヤルの目盛り“1”が最低速で、目盛り“5”が最高速です。(図6)

ダイヤルの目盛りが“1”のとき、電源事情などにより回転しなくなることがありますので、ご注意ください。

(2) 穴あけ材料と適正回転数の関係

穴あけ材料と適正回転数の関係は、作業条件、電源事情などによって多少異なりますが、一般に次のようになります。

鉄鋼、アルミニウム、木材などの軟質材には高速が適しておりますが、ステンレスなどの硬質材には低目の回転数が適しております。

次の表を目安にご使用ください。

(表中、低は“低速”1側、高は“高速”2側を示し、数字はダイヤルの目盛りを示します。)

材料 \ 錐径	6mmまで		6mmを越え 8mmまで		8mmを越え 10mmまで		10mmを越え 13mmまで		13mmを越え 18mmまで		18mmを越え 30mmまで	
	高	5	高	5	低	5	低	5	—	—	—	—
鉄鋼	高	5	高	5	低	5	低	5	—	—	—	—
木材	高	5	高	5	高	5	高	5	高	5	低	5
ステンレス	低	5	低	4	低	4	低	3	—	—	—	—

どの穴あけ作業の場合にもセンチもみ(穴あけ位置決め)をするときは、いったんダイヤルを回して低速にしますと作業はしやすくなります。

注 • ダイヤル低速で、長い時間の連続作業あるいは軟質材などの穴あけ作業をしますと、モーターに無理がかかり、故障の原因になります。特に穴あけ中、錐が停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに穴あけできるように回転数を調整してください。

4. 電子ドリルを押す力は……

必要以上に力をかけても決して早く穴をあきません。かえって錐先をいためて作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命も短くなります。

5. 突き抜け穴をあける場合は……

穴の抜けぎわに錐が折ることがあります。穴の抜けぎわに押す力をゆるめることが大切です。

6. 使用直後の注意……



警告

- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

使用後はスイッチを切って、錐の回転が止まってから本機を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

保守・点検



警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 錐の点検……

錐の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておきますとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

2. 機体の点検……

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

3. モーターの取扱いについて……

モーター(内臓)(8ページの図1参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** •モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングのスイッチ側風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。

4. 清掃する……

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

5. 機体や付属品の保管……

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気のある場所
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所